

2001 年度後期 形式概念解析入門 資料 2001.12.10Ver. 1,  
<http://fcs.math.sci.hokudai.ac.jp/doc/announce/am01.html>

## 7 形式文脈の圏

### 7.1 完備束の間の上限保存写像と下限保存写像の関係

$L, M$  を完備束とする。 $f: L \rightarrow M$  と  $g: M \rightarrow L$  が、どの  $\ell \in L, m \in M$  についても

$$f\ell \leq m \Leftrightarrow \ell \leq gm$$

を満たすとき、 $(f, g)$  を  $L$  から  $M$  へのガロア対応と呼ぶ。

命題 1 (i)  $(f, g): L \rightarrow M$  をガロア対応とすると、 $f$  は上限を保ち、 $g$  は下限を保つ。

(ii)  $f: L \rightarrow M$  が上限を保つならば、 $(f, g)$  がガロア対応となるような  $g: M \rightarrow L$  が存在する。

(iii)  $g: M \rightarrow L$  が下限を保つならば、 $(f, g)$  がガロア対応となるような  $f: L \rightarrow M$  が存在する。

証明.

(i)  $\ell_i \in L$  とする。 $f(\bigvee_i \ell_i) = \bigvee_i f\ell_i$  を示す。

$$\begin{aligned} f(\bigvee_{i \in I} \ell_i) \leq m &\Leftrightarrow \bigvee_{i \in I} \ell_i \leq gm \\ &\Leftrightarrow \ell_i \leq gm \quad \forall i \in I \\ &\Leftrightarrow f\ell_i \leq m \quad \forall i \in I \\ &\Leftrightarrow \bigvee_{i \in I} f\ell_i \leq m. \end{aligned}$$

よって、 $f(\bigvee_i \ell_i) = \bigvee_i f\ell_i$ .

(ii)  $f: L \rightarrow M$  が上限を保つとする。

まず、 $f$  は順序を保つ。実際、 $a \leq b$  ならば  $b = a \vee b$ 。従って、 $fb = f(a \vee b) = fa \vee fb$ 。故に  $fa \leq fb$ 。

$g(m) := \bigvee \{ \ell \mid f\ell \leq m \}$  と定義する。このとき、 $\ell \leq g(m)$  とすると、 $f\ell \leq f \bigvee \{ \ell \mid f\ell \leq m \} = \bigvee \{ f\ell \mid f\ell \leq m \} \leq m$ 。

逆に、 $f\ell \leq m$  ならば、 $\ell \in \{ \ell \mid f\ell \leq m \}$ 。よって、 $\ell \leq \bigvee \{ \ell \mid f\ell \leq m \} = g(m)$ 。以上により  $(f, g)$  はガロア対応となる。

(iii) も同様に示される。 ■

## 7.2 形式文脈の射

$C_i = (X_i, A_i, \models_i)$  ( $i = 1, 2$ ) を形式文脈とする。 $f_1 : X_1 \rightarrow X_2, f^1 : A_2 \rightarrow A_1$  の組  $f = (f_1, f^1)$  が文脈射であるとは、 $x_1 \in X_1, a_2 \in A_2$  に対し

$$f_1 x_1 \models_1 a_2 \Leftrightarrow x_1 \models_2 f^1 a_2 \quad (1)$$

が成立することを言う。

**命題 2**  $f = (f_1, f^1)$  について、次は同値

(i)  $f$  は文脈射.

(ii)  $a_2 \in A_2$  に対し、

$$(f^1 a_2)' = f_1^{-1}(a_2'). \quad (2)$$

(iii)  $x_1 \in X_1$  に対し、

$$(f_1 x_1)' = f^{1-1}(x_1'). \quad (3)$$

**証明.**  $f_1 x_1 \models_2 a_2$  は  $f_1 x_1 \in a_2'$  と同値で、これは  $x_1 \in f_1^{-1}(a_2')$  と同値。

一方  $x_1 \models_1 f^1 a_2$  は、 $x_1 \in (f^1 a_2)'$  と同値。従って、(1) は (2) と同値。

また、 $f_1 x_1 \models_2 a_2$  は  $a_2 \in (f_1 x_1)'$  と同値で、 $x_1 \models_1 f^1 a_2$  は  $a_2 \in f^{1-1}(x_1')$  と同値。従って、(1) は、(3) と同値。 ■

**命題 3**  $(Y_i, B_i)$  を  $C_i$  の形式概念とする ( $i = 1, 2$ )。このとき

(i)  $(f_1 Y_1)' = f^{1-1} B_1$ .

(ii)  $(f^1 B_2)' = f_1^{-1} Y_2$ .

**証明.**

$$\begin{aligned} b_2 \in (f_1 Y_1)' &\Leftrightarrow f_1 y_1 \models_2 b_2 \quad \forall y_1 \in Y_1 \\ &\Leftrightarrow y_1 \models_2 f^1 b_2 \quad \forall y_1 \in Y_1 \\ &\Leftrightarrow f^1 b_2 \in (Y_1)' = B_1 \\ &\Leftrightarrow b_2 \in f^{1-1} B_1. \end{aligned}$$

$b_2 \in B_2$  は任意の元だったので、 $(f_1 Y_1)' = f^{1-1} B_1$ .

同様にして、(ii) も示される。 ■

$f : C_1 \rightarrow C_2$  が文脈射のとき、

$$f_* : \mathcal{B}(C_1) \rightarrow \mathcal{B}(C_2) \quad f^* : \mathcal{B}(C_2) \rightarrow \mathcal{B}(C_1)$$

を次のように定義する：

$$\begin{aligned} f_*(Y_1, B_1) &= ((f_! Y_1)'', (f_! Y_1)') \\ f^*(Y_2, B_2) &= ((f^! B_2)', (f^! B_2)''). \end{aligned}$$

命題 (??) より次のようにも表示できる。

#### 補題 4

$$\begin{aligned} f_*(Y_1, B_1) &:= ((f^{!-1} B_1)', f^{!-1} B_1), \\ f^*(Y_2, B_2) &:= (f^{!-1} Y_2, (f^{!-1} Y_2)'). \end{aligned}$$

証明.  $f^{!-1} B_1 = (f_! Y_1)'$  より、

$$f_*(Y_1, B_1) = ((f_! Y_1)'', (f_! Y_1)') = ((f^{!-1} B_1)', f^{!-1} B_1).$$

後者についても同様。 ■

命題 5 ( $f_*$ ,  $f^*$ ) はガロア射  $\mathcal{B}(C_1) \rightarrow \mathcal{B}(C_2)$  となる。

証明.

$$f_*(Y_1, B_1) \leq (Y_2, B_2) \iff (Y_1, B_1) \leq f^*(Y_2, B_2),$$

を示す。

$$\begin{aligned} f_*(Y_1, B_1) \leq (Y_2, B_2) &\iff f^{!-1} B_1 \supseteq B_2 \\ &\iff B_1 \supseteq f^! B_2 \\ &\iff Y_1 = B_1' \subseteq (f^! B_2)' = f_!^{-1}(Y_2) \\ &\iff (Y_1, B_1) \leq f^*(Y_2, B_2). \end{aligned}$$
■

系 6  $f_*$  は  $\vee$  を保ち、 $f^*$  は  $\wedge$  を保つ。